

コミュニティバス“かわせみ”の旅 広報まちかど特派員の綾瀬再発見!

今年度も、皆さんの協力で地域の話や心温まる出来事などを取材して、広報あやせや市のホームページで市の魅力を届けることができました。このコーナーでは、昨年に続いてコミバス2号車、5号車のルート周辺で見つけた、ちょっと気になるスポットを紹介します。
☎秘書広報課 70・5606。



深谷四ツ谷橋(深谷3934番地付近)西側

綾瀬に奥の細道散歩道

妻之神バス停で降り、西に向かって比留川を渡ると深谷中央2号緑地があり、木々の間を縫うように遊歩道が通っています。木漏れ日の中を歩いていると、市内とは思えない別世界でした。道の途中に設置されているベンチで一休みしていると木々の匂いが気持ち良く感じられました。



市内をあちこち歩いて、気になる場所があると調べて、意外なことに驚いたりした1年でした。
【千葉 幸雄】



スポーツセンター陸上競技場東側

くつろげる長峰の森

スポーツセンターと光綾公園の間に広がる長峰の森。所有者のご協力で市民に開放され、あえて遊具などはあまり置かず、自由に自然にふれられるような配慮がされています。散策路にはチップが敷かれていて足の感触も良く、野鳥なども種類が多く、伸び伸びと自然を満喫することができます。



今年も四季の変化、月や空の様子などを中心にレポートしてきました。写真を撮っていると、市民の皆さんから声を掛けていただくことが多くなり、大変励まされています。
【 Ikeda 武】



綾北福祉会館隣接

「子の神」は、寺尾の鎮守様

バス停から坂道を西へ下ると「子之社」の森があります。子の神は北を守る神で、縁結びの神としても尊ばれています。関ヶ原の戦いの数年前に造立されたと伝えられている神社には、寺尾村内安全の願いが込められたのでしょう。



きらめき市民活動の取材で訪れた「あやせマンドリングクラブ」では、優しい音色を紡ぐ人たちとの出会いに感動しました。
【秋元 謙治】



北の台地区センター向かい

蓼川神社

大山祇命を祭神とする山神社と、学問の神として知られる菅原道真を祭神とする天神社が明治42年に合祀されてできた神社です。境内には、正徳3年(1713年)の青面金剛像や庚申塔など多くの石造物が祭られており、麟鳳亀龍のみこしも保管されている地域の大切な神社です。



多くのニュースを発信し、市民の皆さんに楽しんでいただけるように、これからも頑張ります。
【大滝 隆司】



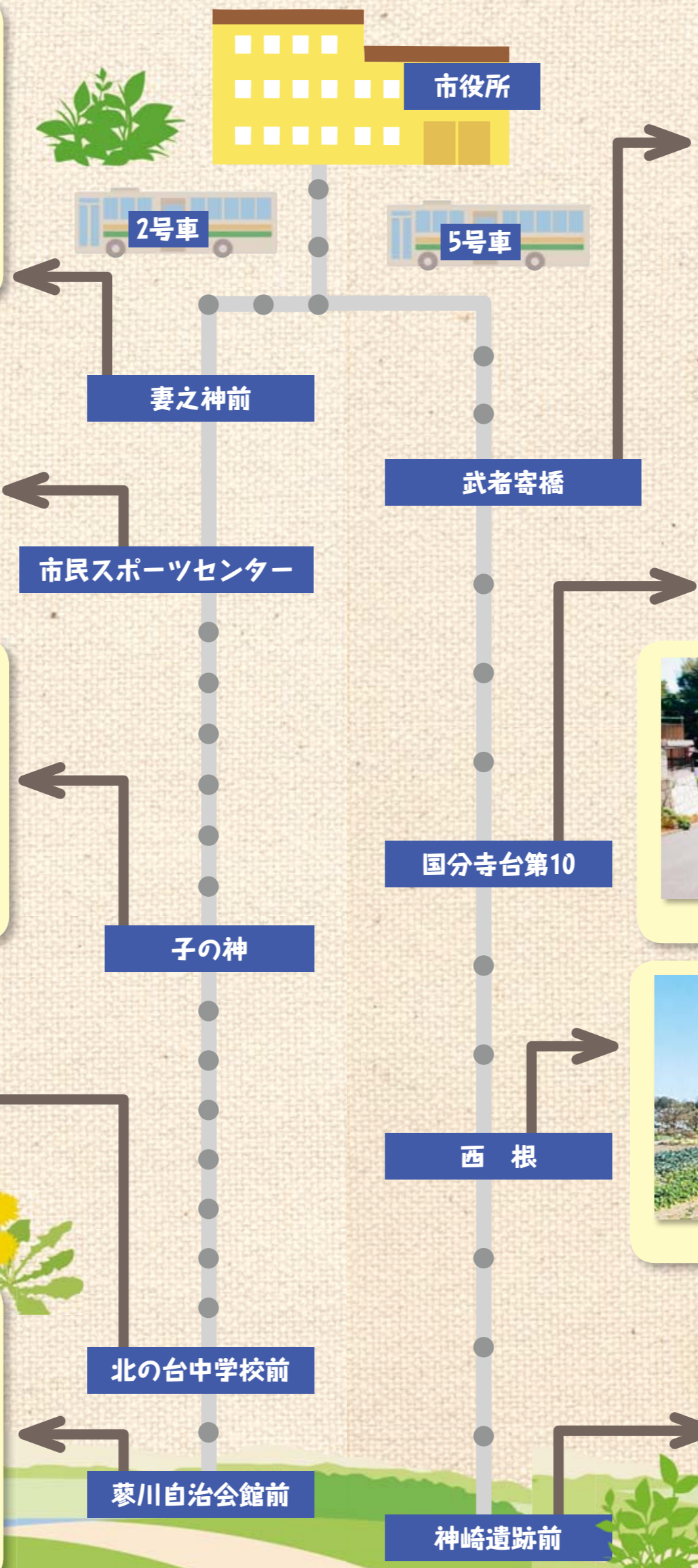
蓼川2~3丁目境

塩の道

蓼川自治会館前バス停を下車し、西へ徒歩2分の所に横浜市金沢の六浦海岸で取れた塩を遠く八王子まで運んだ古道があります。古くから人が欠かすことのできない塩は、最も古い歴史を持つ交易品です。



見て、読んで、楽しく面白く驚いていただけるような取材をしたいですね。
【高橋 元】



天神森隧道西側先(早川845番地)付近

江川天神社

武者寄橋バス停から歩いて約3分ほどの所にある江川天神社。祭神は菅原道真と平成輔です。平成輔は鎌倉に護送される途中、元弘2年5月に早川尻(現小田原市)で殺害されました。早川尻という昔の村名が、たまたまこの早川と同名だったことで後世ここにも祭ったものと思われる。



今年度も多くの人と関わることができて、とても楽しかったです。取材する楽しさを学ぶことができました。
【杉並 世依子】



県道吉岡・海老名線沿い(綾西交差点南側)

綾西の緑地の桜 春を呼ぶ

国分寺台第10バス停のすぐ西側には、ふるさと宝かるたにも詠まれている綾西緑地の桜並木が続いています。春には満開の桜が見事な花のトンネルを形成し、大勢の花見客でにぎわいます。近くには綾西バザール商店街や綾瀬の名産品である高座豚の加工品を販売している店があり、綾西住民の生活を支えています。



今年度も市内小・中学校の総合学習を取材する機会が多くありました。将来を担う子どもたちの明るさ、たくましさを感じたいと思います。
【近藤 秀敏】



目久尻川堀之内橋(吉岡1689番地)付近

横須賀へ水を送った水道道

吉岡配水池脇を、海老名市側から真っすぐ伸びる一本の道、通称「水道道」と呼ばれています。道路の地下には、旧日本海軍が7年の歳月をかけ、1918年(大正7年)に完成させた水道管が埋設されています。取水場は愛川町半原付近で、約53km離れた横須賀市逸見浄水場まで送水していましたが、平成19年3月で取水は中止されました。道路端には当時の埋設標識も随所に残っています。



地域や活動やイベントの取材で、素晴らしい出会いがありました。ありがとうございました。
【福島 順一】



目久尻川岡野橋(吉岡1260番地)付近

西根で下車して

初冬の日差しにきらきら川面が光る目久尻川と種々の冬野菜を育む広大な菜園に挟まれたサイクリングロードの散策を楽しみました。西根バス停で下車して徒歩2分、岡野橋から用田橋までの間、コイの群れや冷たい空気にめげずに咲く花々にそれとなく話し掛けながら、心地良い汗をかきました。多くの人が訪れるのもうなずけます。皆さんも散策してはいかがでしょうか。



一年を振り返ってみると、取材の場が自分の居住地とその周辺が中心でした。これからは、取材対象地域を広げ、いろいろな情報を市民の皆さんにお知らせしたいと思います。
【吉江 旭】



神崎遺跡・バス停(吉岡3425番地)付近

神崎遺跡からの眺め

公園化が計画されているこの場所に立つと、1800年前に移住してきた人々は、絶好の地を見つけたものだと感じます。今では、藤沢域の新幹線が見える「見はらし場」もあります。



この街にマイホームを構えるなどして、住民が増え、少しずつ便利になっていくにつれ、田畑や緑が減っていくのは寂しいですね。
【河野 実】